

復興まちづくりニュース

Vol. 14

中心市街地地区

第10回中心市街地復興まちづくり推進委員会を開催しました

令和6年10月7日(月)人吉市役所において、第10回中心市街地復興まちづくり推進委員会を開催しました。当会では、復興デザイン会議の設立とこれまでの復興状況の取組について報告等を行い、委員の皆様からご意見をいただきました。

復興まちづくりデザイン会議の設立について

令和2年豪雨からの復興の取組として、本市では「まちなかグランドデザイン推進方針」に基づき、中心市街地地区、青井地区、麓・老神地区の各拠点を連携させた「まちなか」全体の活性化を目標に取組んでいます。

当方針の推進を図るため、令和6年8月に復興まちづくり推進会議及び復興まちづくりデザイン会議を設立しました。当会議では各分野の専門家の方々と土地の利活用や事業について議論し、今後具体的な実施方針をまとめ、復興まちづくり推進会議で意思決定を行う予定です。

人吉まちなかグランドデザインの3つの基本方針

- 1 安心安全とともにある復興
- 2 多様な文化とともにある復興
- 3 美しい球磨川・盆地とともにある復興

人吉まちなかグランドデザイン
推進方針に基づき、
復興まちづくりデザイン会議を
設立しました。

復興まちづくりデザイン会議の座組



※説明会資料は人吉市のホームページをご覧ください。

▼デザイン会議についてのご質問を一部ご紹介します。

【ご質問】

Q 中心市街地の情報発信が弱いと感じる。人が集まるような工夫をしないと。

A 情報発信について復興デザイン会議で専門家と今後検討を進めていく。

Q 中心市街地に図書館を作つてほしいという要望が出ているが、どこが検討しているのか。

A デザイン会議で図書館についても今後、議論していくことになると考えている。また、うぐいす温泉街区タスクフォースの公共用地の確保次第で社会実験等も踏まえながら検討していくと考えている。

Q 復興まちづくり推進会議や復興まちづくりデザイン会議の35名で進めていくのか。

A 復興まちづくりデザイン会議の20名で議論し、復興まちづくり推進会議15名において意思決定を行います。また、当推進会議で出したアクションプランの素案を11月に住民の皆さんにお示ししたいと考えている。

Q アクションプランとはどういうものか。

A アクションプランは地域の方と将来の暮らし等を企画し立てていくものになる。社会実験を通して合同意見交換会等を地元の方にも参画して進めていく予定である。

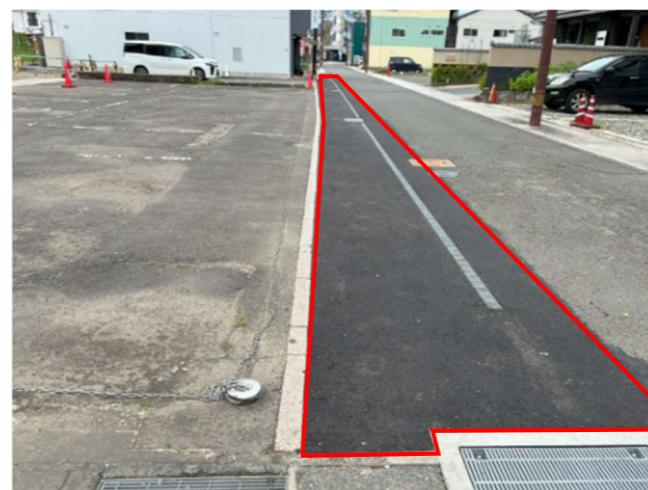
Q 人吉駅を中心としたまちづくりを考えていかないといけない。

A 復興まちづくりデザイン会議の駅前・SLタスクフォースの中で議論していく。

中心市街地地区の復興状況の取組について

紺屋町土地区画整理事業では横西町通りの側溝改良工事が8月末にしゅん工しており、土地区画整理区域内の一部の造成工事を現在進めています。

また、交流・文化の場として位置付けている鶯温泉を含む街区では、鶯温泉敷地の活用の在り方や施設を運営していく人材の発掘、事業の妥当性を検証する社会実験の実施を検討しています。



側溝改良工事 しゅん工の様子



交流・文化の場周辺街区(案)

※現時点のイメージ(案)であり、今後変更する可能性があります。

▼復興状況の進捗についてご意見、ご質問を一部ご紹介します。

【ご質問】

Q 社会実験の成果や評価などはあるのか。

A 利用される方にアンケートやご意見をいただきたいと考えている。また、運営する方が将来的に事業継続できるか等、社会実験を通して課題等も見つけていければと考えている。

Q 社会実験の呼び込む年齢層はどのくらいか。

A 幅広い年齢層に来ていただければと考えている。時間帯で年齢層が変わればいいと考えている。

【ご意見】

- 社会実験の時に高校生等も巻き込んでイベント等が一緒にできればいい。
- 若い世代が帰ってきたくなるようなまちづくりをしていきたい。



第10回中心市街地まちづくり委員会の様子

◇お問い合わせ◇ 人吉市役所 復興建設部 市街地復興課

〒868-8601 熊本県人吉市西間下町字永溝7番地1
Tel:0966-22-2111(内線:2216)、Fax:0966-24-7869
E-mail:shigaitifukkou@hitoyoshi.kumamoto.jp